



KONICA MINOLTA

News Release

プロフェッショナル向けデジタル印刷機において DMなど1to1印刷の自動検査機能を充実 ～「インテリジェントクオリティオプティマイザー IQ-501」に新機能～

2021年2月8日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山名 昌衛、以下 コニカミノルタ）は、自動品質最適化ユニット「インテリジェントクオリティオプティマイザー IQ-501（以下 IQ-501）」に、DM（ダイレクトメール）などの1to1印刷（バリアブル印刷）の検品作業を省力化する新たな自動検品機能を追加します。

このシステムを、3月の発売に先駆けて、2月8日から開催される国内最大規模の印刷・メディアビジネスの総合イベント「page2021」オンライン[※]に出品いたします。

※2月3日からの開催が予定されていた「page2021」リアル展示会は、新型コロナ禍により中止となりました。

【 コニカミノルタが追求するデジタル印刷の価値 】

コニカミノルタは、印刷会社のワークフローを変革させ、付加価値ビジネスへの転換を支援するため、デジタル印刷ならではの「省力化、スキルレス、リモート化」を追求しています。昨年、ハイボリューム領域デジタル印刷システム「AccurioPress（アキュリオ プレス）C14000」を発売し、質と量の両面からデジタル印刷そのものを進化させました。一方、IQ-501では、2017年に「自動調整機能」を提供して以来、次の第二世代では「自動検品機能」を追加し、この度、第三世代として「1to1印刷（バリアブル印刷）の自動検査機能」を追加することで、デジタル印刷を利用できる印刷会社の裾野を広げました。これからも、より多くの印刷会社がデジタル印刷を駆使して、クライアントに新たなビジネス提案ができるよう、自動化でデジタル印刷の価値を高めてまいります。

【 IQ-501の自動検品機能が提供する価値 】

オフラインで行われる一般的な印刷物の検品では、印刷終了後に目視で全数チェックして不適合品を取り除き、取り除いた不足分を追加印刷する必要があります。また、デジタル印刷で冊子単位の印刷をする場合、該当ページの差し替えが必要となり、検品から再印刷の工程で多くの手間と時間が掛かるなどの課題があります。

コニカミノルタが2019年にIQ-501に投入した「自動検品機能」により、インラインで不適合品の自動検出と排出から自動リカバリー印刷までが簡単に実行できるようになり、オペレーターのスキルレベルに寄らず検品作業の負荷を低減させ、ワークフローの改善が進みました。

この度、この自動検品機能をさらに進化させ、DMなどの1to1印刷の検品作業について、生産性向上とオペレーションの省力化、コスト削減を推進します。さらに、煩雑な検品作業が無くなったことで、1to1印刷が導入し易くなり、クライアントへの新たなビジネス提案の機会を増やすことで、印刷会社の利益向上に貢献します。

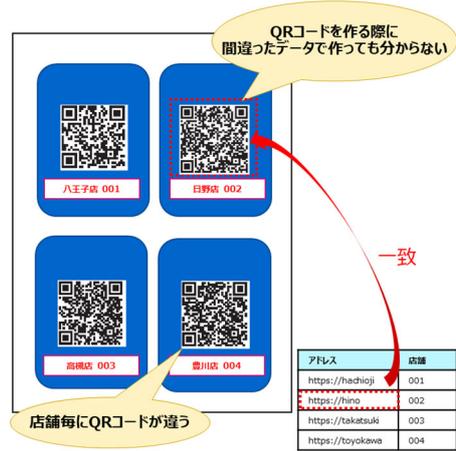
【 新たに追加された自動検品機能 】

1. 1to1印刷でのリアルタイム照合と不適合品の自動排出

DMでは宛先ごとに異なる店舗のQRコードを印刷する場合があります。目視では内容が分からないため、印刷後にQRコードをテキスト化、エクセルなどの表に変換し、専用ソフトなどにより間違いを探す必要がありました。

「紙面検査アップグレード基板 UK-312」の追加により、宛先ごとに印刷管理情報(CSVファイル)をインポートして、印刷中に印刷物との比較検査をリアルタイムで行えるようになりました。印刷されたQRコードも、この過程で自動的にテキスト化され、元データと比較されます。そして、不一致が検出された場合には、即座に印刷が停止し、不適合品が自動的に排出されます。

UK-312は、QRコードに限らず、数字やバーコードといった1枚ごとに印刷が異なるデータ(バリエーションデータ)について、このリアルタイム照合と不適合品の排出を可能にしています。



2. 可変印刷領域の汚れも検知

可変印刷領域の汚れについても、「VDPデータ比較アップグレードキット UK-311」により、元原稿のデータ(RIP画像)と1枚ずつ比較することで、検査が可能となりました。同時に、不適合品の自動リカバリー印刷も行います。

これにより、今まで対応できなかった印字エリアに対してでも検査可能となり、より一層の省力化が図れるようになりました。



【 IQ-501とは 】

IQ-501は、印刷現場で「人手と専門性」が必要な、色や濃度・見当位置の調整、人的操作ミス・ロスによる廃棄や仕事のやり直しなどを、コニカミノルタ独自の技術で自動化する自動品質最適化ユニットです。

印刷前のマシン調整から出力後の汚れ検品まで、印刷の各生産工程で活躍し、トータルな品質管理と省力化を実現します。



インテリジェントクオリティーオプティマイザー

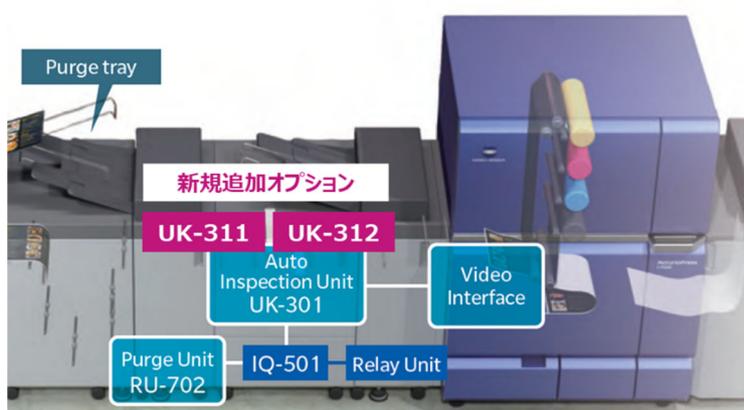
印刷前	自動色調整 自動表裏見当調整
印刷中	リアルタイム色階調補正 リアルタイム表裏見当調整 自動検品機能 VDPナンバリング検査
印刷後	検品レポート作成 Cloud Eye 色管理レポート作成

コニカミノルタは、2017年のIQ-501発売以来、高品質、短納期、生産性向上といった印刷業界のニーズに応える機能を次々と開発し、「一括色自動調整で作業時間が飛躍的に短くなった」「ダウンタイムを削減できた」「画像安定性と表裏精度に感動」「大量出力時でも安定した品質に驚き」「印刷業界に革新をもたらすゲームチェンジャー」といった評価を獲得しています。

IQ-501ウェブサイト：

https://www.konicaminolta.jp/business/products/graphic/ondemand_print/iq-501/index.html

これからもコニカミノルタは、「印刷の未来を共に創る」ため、印刷現場作業を質と量の両面から支援し、収益性の高いデジタル印刷システム環境の構築に貢献してまいります。



【標準価格】

新発売	紙面検査アップグレード基板 UK-311	¥ 1,000,000 (税別)
	VDPデータ比較アップグレードキット UK-312	¥ 2,500,000 (税別)
既発売	インテリジェントクオリティオプティマイザー IQ-501	¥ 3,400,000 (税別)
	紙面検査ユニット UK-301	¥ 1,581,000 (税別)
	中継搬送ユニット RU-518	¥ 850,000 (税別)
	紙面検査用中継搬送ユニット RU-702	¥ 740,000 (税別)
	I Q用ビデオインターフェイス VI-511	¥ 100,000 (税別)
	紙面検査用ビデオインターフェイス VI-513	¥ 200,000 (税別)

デジタル印刷機本体、上記以外の各種ユニット、オプション、設置料金は、別料金となります。

【お客様のお問い合わせ先】

コニカミノルタジャパン株式会社 お客様相談室 TEL:0120-805-039

変更履歴

「2. 可変印刷領域の汚れも検知」のサンプル画像を、都合により差し替えました。お詫びして訂正します。
[2021年2月9日]

報道関係お問い合わせ先

コニカミノルタ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 TEL : 03-6250-2100
担当：北陽子 070-3669-8853(在宅勤務)